

## 3月のはりま読書の会で紹介された本

書名	著者	請求記号 (所蔵あり)
「バイアス社会」を生き延びる	中野 信子/著	YA 14 ナカ
青を抱く	一穂 ミチ/著	
おらおらでひとりいぐも	若竹 千佐子/著	ブンコ F ワカ
やなせたかし おとうとものがたり	やなせ たかし/詩・画	911.5 ヤ
四月になれば彼女は	川上 健一/著	
赤へ	井上 荒野/著	F イノ
あなたならどうする	井上 荒野/著	F イノ
ママがやった	井上 荒野/著	F イノ
花と短歌でめぐる二十四節気花のこよみ	俵 万智/季節の案内人	627 八
はじめてふれる日本の二十四節気・七十二候 1	根本 浩/著	44 ネモ
口ぐせで人生は決まる	中島 輝/著	146 ナ
老い方がわからない	門賀 美央子/著	

### ～ 読書会 memo ～

本日はあいにくの雨模様でしたが、5名の方にご参加いただきました。

今回も様々な本が紹介されました。

4月から新しく始まる朝ドラ「あんぱん」で半生を描かれるやなせたかしさん。

『やなせたかし おとうとものがたり』は22歳で戦死したやなせさんの弟・千尋さんとの思い出を詩と絵で描いています。

女遊びが派手な夫を妻が殺す物語である『ママがやった』。半世紀も連れ添った夫を何故妻は殺したのか？作者の井上荒野さんの実の父親も長年不倫をし、母親は何も言わずに見守っていた…という環境だったようで、『ママがやった』は井上荒野さんの実の父親をモデルにしているそうです。

作品だけでなく作者自身のことを知ると、また作品に対する解釈も変わるんだな、と今回の読書会を通じて感じました。

ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

**次回は 4月20日(日)午前11時からの予定です。**

**※変更となる場合があります。HP等をご確認ください。**